

教科名	国語	週時間数	4	学年	2
使用教科書 及び 副教材等	現代の国語2（三省堂） 新しい書写2・3年（東京書籍） すらすら基本文法（浜島書店） 漢字ノート2年（新学社） 新刊 国語スイッチ2（正進社）				

指導の重点	「学ぶ意欲」 「表現力」 「知識・技能」						
教科のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に積極的に取り組み、国語に対する興味・関心を高める。 ・自分の見方や考え方を深め、表現の仕方に注意して話し、聞き、書くことができるようにする。 ・様々な文章を読み、目的や意図に応じて読み取る能力を育てる。 ・国語の基礎的な事項や知識を身につけさせる。 						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を中心にして進める。必要に応じてワーク、ワークシート、ビデオ、資料集、辞書などを活用する。 ・教材によって学習活動は異なるが、発表・音読・スピーチ・作文など生徒一人一人の表現活動を取り入れる工夫を行い、興味・関心を高める。 ・漢字の小テストや聞き取りテストなど確認テストを適宜行い、知識や聞く力などを身につけさせる。 						
定期考査	出題方針	授業内容を中心に出題する。（読解問題・言語問題・作文問題など）					
	範囲 (予定)	1学期中間	詩	随筆	短歌	漢字	
		1学期期末	随筆	物語	漢字		
		2学期中間	説明文	古典	文法	漢字	
		2学期期末	古典	詩	漢字		
学年末		文学	文法	漢字			
学習方法 (アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に集中して取り組む。課題は自分で考える努力をする。 ・人の発表や発言はしっかりと聞き、自分の意見や考えは挙手してはっきりと述べる。 ・提出物の期限を守る。 ・見やすく、使いやすい自分のノートを作る。 ・家庭学習の時間を確保する。 ・読書しよう。 						

	観 点	評 価 規 準	評 価 方 法
評	主体的に取り組む態度 (国語への 関心・意 欲)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容に関心を持ち、授業に集中してまじめに取り組んでいるか。 ・課題にしっかり取り組み、きちんと仕上げ、提出期限を守って提出できているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・課題の提出状況
	思考・判断・ 表現 (話す・聞 く能力)	<ul style="list-style-type: none"> ・話の内容を正確に聞き取ることができているか。 ・目的や場面に応じて表現を工夫し、相手にわかりやすく話すことができているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取りテスト ・授業の様子
	主体的に取り組む態度 (書く能力)	<ul style="list-style-type: none"> ・題材の主題（作者の思い）や、それに対する自分の経験、考えなどを、書き出しや中心部分の展開などを工夫し、読み手に効果的に伝わるように書くことができているか。また、語句を適切に使うことができているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感想文、作文関係のプリント、ワーク
	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・題材の内容を理解し、その情景を思い浮かべ、丁寧に描くことができているか。 ・問題に対して的確に答えることができているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出作品 ・定期テスト
	知識・技能 (読む能力)	<ul style="list-style-type: none"> ・読み取り問題に答えることができているか。 ・文章の構成や展開をとらえて、内容や心情を的確に把握、理解できているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・授業の様子
知識・技能) (言語につ いての知 識・理解 ・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・語句や漢字、文法などの知識、理解を問うテスト問題に答えることができているか。 ・授業において、語句や漢字、文法などの問題について答えることができているか。 ・文字を正しく整えて配置よく書けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト、夏冬休みの宿題テスト、漢字の小テストなど ・授業やプリントの様子 ・書写の授業での様子、硬筆や毛筆の作品 	

年間授業計画書

学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
1	4	詩	・「名付けられた葉」	1	<ul style="list-style-type: none"> ・詩に描かれた心情を捉え、読み方を工夫して音読する。 ・登場人物の言葉や行動がどんな意味を持っているかに注意して、作品を読み味わう。 ・情景や心情を表す語句に注意して、短歌を読み味わう。 ・短歌の表現の工夫などを捉えて、鑑賞したことをまとめる。 ・自然や体験の描き方を工夫して、短歌を作る。 ・異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、構成を工夫して説得力のある発表をする。 ・ものの見方や考え方について、知識や体験と結びつけて考える。 ・構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして考えをまとめる。 ・発見された事実について内容を読み取り、取材した筆者の思いを捉える。 ・用言の性質や働きについて知る。 ・楷書、行書を正確に書く。
		文学	・「セミロングホームルーム」	2	
	5	詩歌創作	・「短歌の世界／短歌十首」	2	
			・短歌のリズムで表現しよう	4	
	6	話す・聞く	・「プレゼンテーション」	5	
	7		段落構成	・「人間はほかの星に住むことができるのか」 ・「壁に残された伝言」	
	7	文学	文法 書写	・「用言」	
・硬筆				1	
2	9	構成展開	・「100年後の水を守る」	3	<ul style="list-style-type: none"> ・文章全体と部分との関係や、筆者の書き方の工夫に注意して、内容を読み取る。 ・付属語（助詞、助動詞）の性質や働きについて知る。 ・古文特有のリズムを味わいながら音読を楽しみ、自然や事物に対する筆者のものの見方や感じ方を捉える。 ・現代語訳を手がかりにして内容を読み取り、随筆に表れた筆者のものの見方や考え方を捉える。 ・表現の特徴を生かして朗読し、場面や状況を読み取り、当時の武士の生き方や心情について理解を深める。 ・表現の特徴をとらえて朗読し、それぞれの漢詩に描かれている情景や作者の思いを捉える。 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方などに注意して推敲する。 ・聞き手の立場や考えを想定し、説得力のある話を組み立てる。 ・資料などを利用して、分かりやすく話す。 ・行書の練習。
		文法	・「助詞・助動詞」	2	
	10	古文	・「枕草子」	2	
		古文	・「徒然草」	2	
	11	古文	・「平家物語」	4	
		漢文	・「漢詩の世界」	2	
	12	推論対話	・「主張文」	6	
		話す聞く	・「パネルディスカッション」	2	
12	書写	・毛筆	1		
			1		
3	1	詩	・「大阿蘇」	1	<ul style="list-style-type: none"> ・詩に描かれた情景や心情を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。 ・抽象的な語句に注意して読み、筆者の論の進め方の工夫を捉える。 ・筆者の考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えを持つ。 ・人物や情景の効果的な描写に着目して読み深め、場面の展開や表現の仕方について、自分の考えをまとめる。 ・楷書、行書、かなを正確に書く。 ・筆者の考えを捉え、自分の考えを持つ。 ・風景や心情などをいきいきと表すように、工夫された描写を読み取る。 ・書いた文章を読み返し、語句や文の使い方などに注意して推敲する。
		吟味判断	・「達人のことば」	4	
	2	文学	・「走れメロス」	5	
				書写	
	3	文学	・「ポテト・スープが大好きな猫」	4	
				思いを伝える	

* 言語（ことば発見・漢字のしくみ・文法のまど・）は各単元の間で学習する（10時間）

